



育成する人材像	ディプロマポリシー	カリキュラムポリシー		1年次	2年次	3年次	4年次	
<b>医学部・看護学部との協働による広い視野をもった医療人の育成</b> 互いの専門性の深化を目指すとともに、相互理解のもとお互いの専門性を尊重する広い視野をもった医療人	・理学療法を基礎とした上で、その専門領域にとどまらず、学問領域を超えた幅広い思考能力を有している	幅広い教養を身につけ、様々な専門職種と協働できるコミュニケーション力を高める	基礎教養科目	◎基礎ゼミ◎統計学◎情報処理技術◎心理学◎教育学◎基礎英語◎コミュニケーション論◎医学英語◎医療経済学◎哲学◎社会学◎中国語◎韓国語◎フランス語◎認知科学	◎グローバルコミュニケーション			
			専門基礎科目	◎医療専門職総論			◎医療福祉連携論	◎チーム医療演習
			専門科目	◎臨床見学実習				
			基礎教養科目	◎基礎ゼミ◎倫理学				
<b>「人」を尊重するリハビリテーション専門職の育成</b> 単に機能回復訓練による心身機能や身体構造の回復だけでなく、人としての尊厳を大切に考え、その人らしい生活や社会参加を目指すことのできるリハビリテーション専門職	・医療専門職に求められる基礎的知識に加え、人の健康全般に関する応用的思考を有している	生命に対する尊厳と医療人としての倫理観を身につけ、人の健康に対して理学療法が果たす役割を理解する	基礎教養科目	◎基礎ゼミ◎倫理学				
			専門基礎科目	◎リハビリテーション概論◎医療専門職総論	◎リハビリテーション医学	◎救命医学	◎チーム医療演習	
			専門科目	◎理学療法概論◎臨床見学実習◎作業療法概論				
			基礎教養科目	◎健康科学				
<b>様々な場で活躍できるリハビリテーション専門職の育成</b> 単に機能回復訓練による心身機能や身体構造の回復だけでなく、人としての尊厳を大切に考え、その人らしい生活や社会参加を目指すことのできるリハビリテーション専門職	・医療・社会における理学療法の専門的な役割を理解し、多職種間で連携して主体的に医療・社会に貢献することができる	人体の構造・機能ならびに神経生理学的メカニズムを学び、その疾患と障がいに関する基礎的な医学知識を習得する	基礎教養科目	◎物理○生物○化学◎認知科学				
			専門基礎科目	◎解剖学Ⅰ◎解剖学Ⅱ◎生理学Ⅰ◎生理学Ⅱ◎運動学Ⅰ◎臨床心理学◎病理学◎画像診断解析学◎内科Ⅰ◎整形外科Ⅰ	◎生理学実習◎運動学Ⅱ◎運動学実習◎内科Ⅱ◎整形外科Ⅱ◎臨床神経学Ⅰ◎臨床神経学Ⅱ◎小児科学◎精神医学◎老年医学◎臨床薬学◎リハビリテーション医学	◎臨床栄養学		
			専門科目				◎画像評価学演習	
			基礎教養科目	◎健康科学				
<b>将来にわたり活躍できるリハビリテーション専門職</b> 今後変化する国内・国外の社会情勢を踏まえ、生涯にわたり知識の習得と技術の研鑽に努めることのできるリハビリテーション専門職	・対象者がもつ多様な病態やニーズを把握する技術や知識を備え、個々に対応した質の高い理学療法を提供することができる	ライフサイクルを通じた人の心身の変化を理解し、各年齢層に応じた健康について考え支援するための素養を身につける	基礎教養科目	◎健康科学				
			専門基礎科目	◎人間発達学	◎小児科学◎老年医学			
			専門科目		◎小児理学療法	◎高齢者理学療法	◎理学療法特論◎認知症に対する作業療法◎神経発達症と作業療法	
			基礎教養科目	◎基礎ゼミ				
<b>将来にわたり活躍できるリハビリテーション専門職</b> 今後変化する国内・国外の社会情勢を踏まえ、生涯にわたり知識の習得と技術の研鑽に努めることのできるリハビリテーション専門職	・AIや医療ロボットなどの高度なテクノロジーを駆使した先進的な理学療法技術を開発し、急速な医学・医療の進展や将来の社会的ニーズの変化に対応するための継続的な知識・技術の研鑽ができる	理学療法の歴史的・理論的背景を理解し、社会・医療制度の中で理学療法が担う役割を学ぶ	基礎教養科目	◎基礎ゼミ				
			専門基礎科目	◎リハビリテーション概論◎公衆衛生学	◎医療福祉連携論	◎チーム医療演習		
			専門科目	◎理学療法概論◎臨床見学実習	◎理学療法管理学	◎理学療法総合演習		
			基礎教養科目	◎基礎ゼミ				
<b>将来にわたり活躍できるリハビリテーション専門職</b> 今後変化する国内・国外の社会情勢を踏まえ、生涯にわたり知識の習得と技術の研鑽に努めることのできるリハビリテーション専門職	・医療技術や医療機器の進歩など今後変化する社会情勢を踏まえ、医療・保健の分野に関わる課題に取り組み、理学療法の専門家として担うべき役割を社会の中で開拓していくことができる	理学療法の評価の目的と方法を理解し、疾患・障がいに応じて適切な評価を選択し用いるための素養を身につける	基礎教養科目					
			専門基礎科目					
			専門科目	◎理学療法評価学◎理学療法評価学演習Ⅰ	◎理学療法評価学演習Ⅱ◎画像評価学演習◎身体機能解析学演習◎臨床評価実習	◎理学療法総合演習		
			基礎教養科目					
<b>将来にわたり活躍できるリハビリテーション専門職</b> 今後変化する国内・国外の社会情勢を踏まえ、生涯にわたり知識の習得と技術の研鑽に努めることのできるリハビリテーション専門職	・国際的視野をもって研究に関心をもち、将来、自らも理学療法発展に貢献する研究を实践するための素地を身につけている	理学療法の治療について学び、多様化する社会のニーズに対応できる専門性を身につける	基礎教養科目					
			専門基礎科目					
			専門科目	◎運動療法◎物理療法◎物理療法演習◎日常生活活動学◎日常生活活動学演習◎運動器理学療法◎神経理学療法◎呼吸循環代謝理学療法◎義肢装具学◎小児理学療法	◎運動器理学療法演習◎神経理学療法演習◎呼吸循環代謝理学療法演習◎義肢装具学演習◎スポーツリハビリテーション学◎総合臨床実習Ⅰ	◎総合臨床実習Ⅱ◎理学療法総合演習◎認知症に対する作業療法◎神経発達症と作業療法		
			基礎教養科目					
<b>将来にわたり活躍できるリハビリテーション専門職</b> 今後変化する国内・国外の社会情勢を踏まえ、生涯にわたり知識の習得と技術の研鑽に努めることのできるリハビリテーション専門職	・医療技術や医療機器の進歩など今後変化する社会情勢を踏まえ、医療・保健の分野に関わる課題に取り組み、理学療法の専門家として担うべき役割を社会の中で開拓していくことができる	高度先進医療から地域生活まで、幅広い理学療法の役割を理解し、人の健康増進に貢献するための知識・技術を習得する	基礎教養科目					
			専門基礎科目					
			専門科目		◎医療福祉連携◎がんリハビリテーション学◎理学療法管理学◎地域理学療法	◎先端リハビリテーション医学◎理学療法総合演習◎理学療法特論◎地域理学療法演習◎緩和ケアにおけるリハビリテーション◎スポーツと作業療法		
			基礎教養科目					
<b>将来にわたり活躍できるリハビリテーション専門職</b> 今後変化する国内・国外の社会情勢を踏まえ、生涯にわたり知識の習得と技術の研鑽に努めることのできるリハビリテーション専門職	・AIや医療ロボットなどの高度なテクノロジーを駆使した先進的な理学療法技術を開発し、急速な医学・医療の進展や将来の社会的ニーズの変化に対応するための継続的な知識・技術の研鑽ができる	先端テクノロジーを利用したリハビリテーションの知識・技術を習得する	基礎教養科目	◎情報処理技術				
			専門基礎科目					
			専門科目	◎義肢装具学◎リハビリテーション工学	◎身体機能解析学演習◎リハビリテーション工学演習◎アシスティブテクノロジー	◎先端リハビリテーション医学◎理学療法特論		
			基礎教養科目					
<b>将来にわたり活躍できるリハビリテーション専門職</b> 今後変化する国内・国外の社会情勢を踏まえ、生涯にわたり知識の習得と技術の研鑽に努めることのできるリハビリテーション専門職	・医療技術や医療機器の進歩など今後変化する社会情勢を踏まえ、医療・保健の分野に関わる課題に取り組み、理学療法の専門家として担うべき役割を社会の中で開拓していくことができる	健康・医療に関わる課題を論理的に把握し、科学的な思考をもって解決する能力を習得する	基礎教養科目	◎統計学◎医療経済学	◎研究方法論			
			専門基礎科目		◎公衆衛生学		◎先端リハビリテーション医学	
			専門科目			◎理学療法研究論◎先端研究演習Ⅰ◎理学療法管理学	◎先端研究演習Ⅱ◎卒業研究◎理学療法特論	
			基礎教養科目					
<b>将来にわたり活躍できるリハビリテーション専門職</b> 今後変化する国内・国外の社会情勢を踏まえ、生涯にわたり知識の習得と技術の研鑽に努めることのできるリハビリテーション専門職	・国際的視野をもって研究に関心をもち、将来、自らも理学療法発展に貢献する研究を实践するための素地を身につけている	理学療法士としての国際的視野をもって臨床や研究を行うための基礎的能力を身につける	基礎教養科目	◎基礎英語◎医学英語◎中国語◎韓国語◎フランス語	◎グローバルコミュニケーション			
			専門基礎科目					
			専門科目			◎国際保健	◎国際リハビリテーション学	
			基礎教養科目					